

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	医用機器学演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	平和 千晶	実務経験とその関連資格	臨床工学技士として、高槻会高井病院、大阪市立大学医学部附属病院、馬場記念病院において、循環器業務を主に計20年間従事。			
《授業科目における学習内容》						
臨床工学技士国家試験の医用機器に関する各分野について、概要を理解し、試験合格に必要な実力を身に付ける。						
《成績評価の方法と基準》						
小テストを実施し、試験評価点とする。学習進捗の状況によっては、期末試験を実施する場合がある。試験を70%、出欠を20%、授業中の態度を10%で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書なし、スライド資料および、過去問資料を配布						
《授業外における学習方法》						
臨床工学技士の国家試験や第2種ME技術実力検定試験で出題される当該分野について、過去問題を中心に繰り返し演習する。						
《履修に当たっての留意点》						
配布資料の過去問題の正解の内容のみならず、その意味を理解し整理すること。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用治療機器学演習・心臓ペースメーカーの概要を理解する。	スライド資料および、過去問資料を配布	学習した内容を復習すること。	
		各コマにおける授業予定	心臓ペースメーカー、ICD、除細動器に関する過去問題演習の実施と解説。			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用治療機器学演習・電気メスの概要を理解する。	スライド資料および、過去問資料を配布	学習した内容を復習すること。	
		各コマにおける授業予定	電気メスに関する過去問題演習の実施と解説。			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用治療機器学演習・各種手術装置の概要を理解する。	スライド資料および、過去問資料を配布	学習した内容を復習すること。	
		各コマにおける授業予定	マイクロ波手術装置、超音波切開凝固装置等に関する過去問題演習の実施と解説。			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用治療機器学演習・温熱療法の概要を理解する。	スライド資料および、過去問資料を配布	学習した内容を復習すること。	
		各コマにおける授業予定	温熱療法に関する過去問題演習の実施と解説。			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医用治療機器学演習・レーザー手術装置の概要を理解する。	スライド資料および、過去問資料を配布	学習した内容を復習すること。	
		各コマにおける授業予定	レーザー手術装置に関する過去問題演習の実施と解説。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	医用治療機器学演習・内視鏡の概要を理解する。	スライド資料および、過去問資料を配布	学習した内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	内視鏡に関する過去問題演習の実施と解説。		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	生体計測装置学演習・内視鏡の概要を理解する。	スライド資料および、過去問資料を配布	学習した内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	内視鏡に関する過去問題演習の実施と解説。		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	医用治療機器学演習・ESWLの概要を理解する。	スライド資料および、過去問資料を配布	学習した内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	ESWLに関する過去問題演習の実施と解説。		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	医用治療機器学演習・輸液、シリンジポンプの概要を理解する。	スライド資料および、過去問資料を配布	学習した内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	輸液、シリンジポンプに関する過去問題演習の実施と解説。		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	医用治療機器学演習・心血管系インターベーションの概要を理解する。	スライド資料および、過去問資料を配布	学習した内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	心血管系インターベーションに関する過去問題演習の実施と解説。		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	医用治療機器学演習・カテーテルアブレーションの概要を理解する。	スライド資料および、過去問資料を配布	学習した内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	カテーテルアブレーションに関する過去問題演習の実施と解説。		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	生体計測装置学演習・X線、CT、MRIの概要を理解する。	スライド資料および、過去問資料を配布	学習した内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	X線、CT、MRIに関する過去問題演習の実施と解説。		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	生体計測装置学演習・超音波診断装置の概要を理解する。	スライド資料および、過去問資料を配布	学習した内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	超音波診断装置に関する過去問題演習の実施と解説。		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	生体計測装置学演習・心電計、筋電計、脳波計の概要を理解する。	スライド資料および、過去問資料を配布	学習した内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	心電計、筋電計、脳波計に関する過去問題演習の実施と解説。		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	生体計測装置学演習・医用テレメーターの概要を理解する。	スライド資料および、過去問資料を配布	学習した内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	医用テレメーターに関する過去問題演習の実施と解説。		